

くまもと
お城まつり

春の



撮影：国東薫

新 金春流 能

たきぎ ろろ

とき 2025年3月20日(祝)

開演：午後6時00分 終演：午後7時30分頃

全席自由

ところ 熊本城 二の丸広場
特設ステージ

観能料 無 料

※雨天の場合は中止いたします
※写真・動画撮影は固くお断り申し上げます

お問い合わせ先：熊本城総合事務所 (お城まつり運営委員会)
TEL 096-352-5900
主催：お城まつり運営委員会

番組

金春流

仕舞 嵐山

上村 恭徳

地謡

林田 考司
東 軍三

網谷 洋志
鬼塚 東洋

網谷 洋志

本田布由樹

山村 政己

村上 芳明

松風

東 軍三

地謡

村上 芳明

番外仕舞

難波

本田布由樹

地謡

山村 政己
本田 光洋
東 軍三
村上 芳明

和泉流

狂言 盆山

男 田寫 晴雄

何某

山内 理至

金春流

子方(義経) 東 祐太朗

後シテ(平知盛)
前シテ(静御前)

田中 秀実
秋山 純晴

能 船弁慶

ワ キ(武蔵坊弁慶)
ワキツレ

飯富

雅介

大鼓 白坂 信行
小鼓 古田寛二郎

太鼓 田中 達
笛 相原 一彦

替ノ出

アイ(船頭) 吉住

講

鬼塚 東洋

山村 政己

後見 本田 光洋

地謡

網谷 洋志

本田布由樹

安達 裕香

上村 恭徳

東 軍三

林田 考司

村上 芳明

終演午後7時30分

能 船弁慶 あらすじ

平家追討に大功ありし義経も、源頼朝に嫉視され、鎌倉へも下られず、しばし西国の方に難を避けんものと、主従わずかに十余人、すこすこと都を出で、攝津の国、大物の浦に至りぬ。この時弁慶は、主君義経に諫めていよう「かゝる折から女を召し具し給うは、世上の人にも憚りあり、静御前は都へ帰えさせ給え」と。義経も首肯するところあり、すなわち静を召し「都へ帰りて時節を待つべし」と諭しけり、静も今はやむなく、惜しき別れの宴にて名残の舞をまい、泣く泣くも義経の船出を見送りぬ。かくて船は沖合に出でしに、にわかには海は荒れ、波は逆巻くと見ると、西国にて亡びし平家の二門姿を現わし、中にも平知盛の幽霊は、義経に切つてかかりけれと、弁慶はついにこれを祈り除けんとすなむ。

見どころ 聞きどころ

聞きどころは「初同」から中入まで、また見どころは烏帽子を着てからの舞や型と、それをぬいで中入するあたり、それに船中の間狂言、後シテの長刀さばき等たくさんある。「働キ」は長刀えを扱う船弁慶特有のものであり、変化の多い面白い能である。魅せる遊芸を、存分にお楽しみください。